

令和6年10月定例教育委員会会議録

1. 開催日時 令和6年10月31日（木） 15時00分～17時15分
2. 開催場所 日野町防災センター2階 202会議室
3. 出席委員 安田 寛次教育長
本居 節子委員、吉澤 松美委員、村井 優子委員、川原委員
4. 出席事務局員 教 育 次 長：正木 博之
学 校 教 育 課：不登校対応担当課長 赤尾 宗一
主席参事 山中 博嗣
専門員 山添 和敏
生涯学習課：課長 加納 治夫
図 書 館：館長 平松 久明
子ども支援課：課長 森 弘一郎

安田 教育長	日程1 開会 それでは、ただいまから日野町教育委員会定例会を開会させていただきます。 議事については1件だけでございますけれども、その他の欄で、前回の会議の際にもお願いをさせていただきましたけれども、日野町幼児教育保育施設再編整備計画（案）についてということで、今パブリックコメントをしていただいている途中かなというところでございますけれども、そういった意見も含めて、いろいろとまた課長から紹介してもらったりしながら、みんなで意見を出し合っていたきたいと思いますので、そこには時間を取りたいと思いますので、よろしくお願いします。 それでは、お手元の議事日程に従って進行させていただきます。 ~~~~~
	日程2 教育長あいさつ （教育長あいさつ） ~~~~~
安田 教育長	日程3 経過報告 日程3の経過報告でございますけれども、まずは私から通信を入れておきましたので、いくつかご紹介させていただきたいと思います。 （経過報告）

安田 教育長	ありがとうございました。ひととおり経過報告を説明させていただきました。委員の皆さんからご質問、ご意見等ありましたらお出しいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。 不登校の関係、具体的な数字もあったのですが、見方も含めて、もう少し説明をお願いします。
赤尾 課長	この表は前回と変わってないのですが、特に見ていただきたいのが一番右側の「R 5 不登校」のところ、令和 5 年度の 30 日以上欠席の子どもの数です。それと「R 6、9 月末の 30 日以上」のところ、令和 6 年 9 月末時点の 30 日以上欠席の子どもの数は、合計すると、中学校はまだ高い感じかなと思いますが、小学校は半分ぐらいで収まっています。 先生方が一番頑張ってくださっているところは、裏面の 2 つ目の表で新規の 30 日以上欠席者数が、「小学校不登校数・新規数」「中学校不登校数・新規数」のところを見ていただくと、明らかに少なくなっている、抑えられているのは非常にありがたいところだと思っています。このままいくと、令和 6 年度はずいぶん下がっていくのではないかと期待しています。 でも、逆にいうと、残念ですけど、一度不登校になっている子どもさんたちはどうしても 30 日を超えてしまうので、今は頑張って登校を始めている子どももいっぱい出てきているのですが、一度 30 日以上休んでいるから「不登校」という烙印を押されたままになってしまっている、本当は登校率をちゃんと出してあげたいと思っています。一度欠席が 30 日を超えたら、そのあとずっと頑張って登校しても、不登校と扱われてしまうのは、よろしくないなと思っています。
安田 教育長	1 つ目の表の「町在籍率」「県在籍率」「全国在籍率」というのは、年間 30 日以上欠席したということですね。令和 6 年は 1.91 と書いてあるけど、これから日数が経ったら増えてくる可能性があるということですね。
赤尾 課長	はい、喜んでいいのは、「新規」を抑えられているところだと思います。
安田 教育長	あと「気がかりな姿」のところで書いてくださっていることですが、10 月・11 月というのは学級担任にとっては大変、一番しんどい時期ですよ。そこをどう乗り切っていくのかという、大変しんどい時期だ

	と思います。やはり、集団の規律が乱れてきたりとか、なかなか先生の指導が入りきらなかったりということがあるので、そこをどういうふう に、チームとしても、それこそ「ダメなものはダメ」という指導をやり 切れるかというところが一番大きな課題かなと思います。 ありがとうございます。そうしましたら、次に移っていきたいと思 います。日程４の議事に入っていきたいと思います。 ~~~~~
安田 教育長	日程４ 報第４号 損害賠償の額を定めることについて 「報第４号 損害賠償の額を定めることについて」を議題としたいと 思います。事務局から提案説明をお願いします。 (提案説明)
安田 教育長	以上でございますけれども、委員の皆さんからご質問、ご意見をお出 しいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。
吉澤 委員	細かいことで申し訳ないのですが、相手方の住所と事故現場が同じ 番地ですが、ということは、おうちから出られたところすぐの事故と いうことですか。
加納 課長	すいません。相手方ご住所の番地の枝番が間違っておりました。ご自 宅からは近かったという感じです。相手様に怪我はなかったし、こちら も怪我はなかったということで、その辺は幸いでございました。
安田 教育長	よろしいですか。場所的にはサンライズの集落の中でのことで、路地 がいくつもありますので、この案件以外にも、子どもたちが自転車に乗 ったりということもよくあって、必佐校区の中では結構危ない場所が何 か所かありますけれども、気をつけていかなければならないなと思いま した。よろしいでしょうか。 (なし)
安田 教育長	それでは、ほかにないようでございますので、「報第４号 損害賠償 の額を定めることについて」をご承認いただいたということにさせてい ただきます。ありがとうございます。 １２月議会でもた報告するという手続きになるかと思います。

	～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～ 日程 5 今後の予定等
安田 教育長	次に、「日程 5 の今後の予定について」に移りたいと思います。学校教育課から順次説明をお願いします。 (説明)
安田 教育長	ありがとうございます。チラシもたくさんありましたし、ご案内もたくさんあるのですが、ご質問等ありましたら時間を取りたいと思いますので、お出しいただきたいと思います。 文化祭のバスが回るのは、3日も回ってくださるということですか。
加納 課長	はい、回ります。
安田 教育長	子どもだけで乗っても大丈夫ですか。
加納 課長	大丈夫です。
安田 教育長	南比都佐公民館を出たら、ずっとほかの公民館を回って、半日かけて南比都佐へ戻ってこられるのですね。
加納 課長	そういうことです。
安田 教育長	よろしいですか、みなさん。本居委員。
本居 委員	昨年もお話しましたが、青年意見大会、毎年聞かせていただいて、子どもたちの本当に素直な意見発表会だと思いますので、保護者の方でもすけれど、子どもたちも一緒に親子で聞けるような意見発表大会であるといいなと思います。 しかし、毎年、参加が少ないかなと思います。多い年もあるのですが、せっかくお友だちが発表しているので、皆さんで聞いていただけると、また子どもたちの刺激になるかなと思いますので、参加が促せるような何かよい案がありましたらお願いしたいと思います。
加納 課長	親御さんに直接届くようなメール機能もございますので、そういうものを使いながら宣伝はしていきたいと思っております。

安田 教育長	なかなかそれだけでは人が集まりませんが、どうされますか。どう考えていますか。
加納 課長	最近、昼休みの放送ジャックをさせてもらってしまして、担当者が直接学校へ行って、ぜひ来てくださいとか、そういうふうなこともさせてもらっているところでございますので、「すぐー」とかいろいろなツールを使いながら呼び掛けていきたいと思っております。 あとまたダイレクトメールで役員の皆様にも送っておりますので、そういう方々を対象に来ていただくというような取り組みもしているところです。
安田 教育長	子どもたちができるだけ聞いてほしいなという思いがありますね。 以前、タイトルだけではなかなかわからないので、こういう発表をしますという概要を書いたチラシをこしらえて、全部の子どもに配って、担任の先生から働きかけしてもらおうというようなことをしたこともありました。まだもう少し日もありますので、いろいろとまた趣向を凝らしてお願いしたいと思います。
加納 課長	わかりました。
本居 委員	大谷公園での11月2日・3日の催しは、雨で中止になった場合は、そのお知らせはどういう形でされるのですか。
加納 課長	「日野め〜る」とか「すぐー」を使ったりとか、ホームページに載せられないかということで、午前6時に発表ということなので、その時点でどういうことができるか、今模索しているところでございます。
安田 教育長	ほか、どうでしょうか。 「学校に行きづらい子どもたちを地域で応援する」シンポジウムのことを赤尾課長、もう少し詳しく説明してください。
赤尾 課長	前半は50分間、障がいのある方の就労支援に携わってくださっている野々村光子さんから、しんどい方でどこにもつながれない人たちにどんなふうな援助をしていくことがいいのかということを主にお話をさせていただきます。 そのあと、参加者でグループワークをしようと考えてもらっていま

	す。例えば家に引きこもっている子どもさんなどに、どんなふうなことがあったらいいのか、自分たちの立場ならどういうことができるのか、そういうところをそれぞれの立場でみんなで意見交換をして、それをまたみんなで交流していこうと思っています。それで2時間くらい思っていて、すぐに素晴らしい手立てが見つかるとは思えないのだけれども、野々村さんからいろいろ、引きこもっている人たちとの関わりの中でヒントになることを提案していただきますので、今後非常に参考になるかなと思っています。
安田 教育長	「不登校」は大変大きな課題として位置付いているわけですけど、不登校はいわば学校の中でそれぞれ担任とかスタッフが関われば何とか方策を見出すこともできるのだけど、要は義務教育を終えた後なんです。そこをどういうふうクリアしていくのかということは、どこも十分な手を施せてないということがあると思うので、そういう意味からすると、このシンポジウムは一石を投じてくれる場になるのではないかなと思うので、またこれからもいろいろと教育委員会の中でも議論していく話題になっていくかなと思います。
赤尾 課長	申込制なので、そこに書いてあるQRコードを読み込んで入力をしてもらうことになりますので、よろしくお願いします。
安田 教育長	行事がいっぱいありますので、皆さんお忙しいとは思いますが、都合がつかましたら、できる範囲で参加いただければありがたいと思います。 そうしたら、ほかにないようでしたら、次に進ませていただいてよろしいでしょうか。 ~~~~~
安田 教育長	日程6 その他 続きまして、日程6のその他に移りたいと思います。 (説明) ~~~~~
安田 教育長	日程7 閉会 それでは、これで10月定例会を終了させていただきます。ありがとうございました。 (閉会)